

より良い渋川の町づくりセミナー



理解と配慮から始まる共生社会 アレルギーと防災、 誰もが安心して暮らせる地域へ

❖開催日時❖

2026年9月13日(日)11時～12時30分

❖場所❖

伊香保公民館（群馬県渋川市伊香保町伊香保163-1）

ご参加無料

❖つぎのような方、ぜひご参加ください❖

- ◆アレルギー疾患のある方およびその家族
- ◆保育・教育関係者（保育士、幼稚園教諭、教職員等）
- ◆福祉関係者（医介護職員、相談支援専門員等）
- ◆自治体職員、防災担当者
- ◆民生委員、児童委員、自治会・町内会役員
- ◆自主防災組織、防災士、地域防災に関心のある方
- ◆災害時要配慮者支援に携わる関係者
- ◆共生社会や地域づくりに関心のある方

❖主催❖

インクルーシブ実行委員会

❖後援❖

渋川市 / 国連 NGO JACE / （一社）日本環境保健機構 / （一社）寝室環境衛生管理協会



❖開催内容❖

アトピー性皮膚炎、食物アレルギー、ぜん息などのアレルギー疾患は、かゆみや痛みといった身体症状だけでなく、孤独感や自己否定感、いじめや社会参加への不安など、心や生活にも大きな影響を与えています。

本講演では、自身も長年アレルギーに悩まされてきた当事者としての経験をもとに、病気そのものではなく「その人の人生」に焦点を当てながらお話しします。また、患者会活動やアレルギーライフ展の開催を通じて出会った多くの当事者や家族の声を紹介しながら、地域社会における理解と配慮の重要性について考えます。アレルギーへの対応は医療だけで完結するものではありません。衣・食・住をはじめ、教育、福祉、防災、企業活動など、私たちの暮らしに関わるあらゆる分野との連携が求められています。

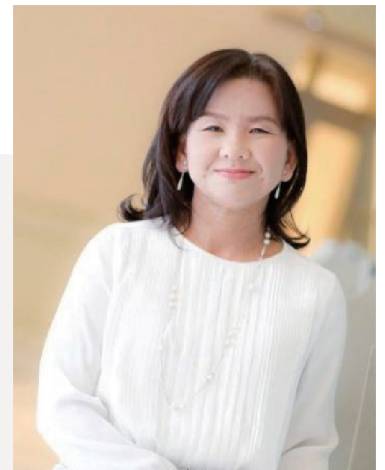
講演後半では、防災とアレルギーをテーマに、災害時における要配慮者支援や地域のつながりの重要性についても触れます。そして最後に、アトピーや外見上の悩み、病気や障害などを抱えながらも前向きに生きる女性たちによるベリーダンスチームの演舞を行います。病気や外見の悩みを抱える人の自己肯定感回復と社会参加の実践事例を具体的に紹介し、一人ひとりが自分らしく輝ける社会について参加者とともに考える機会とします。

❖講師紹介❖

山本 聡子様（一般社団法人日本アレルギーらいふ協会 代表理事）

幼少期よりアトピー性皮膚炎やぜん息などのアレルギー疾患を抱え、長年にわたり症状と向き合いながら生活する。2010 年、アトピー当事者同士の交流活動を開始。患者や家族が孤立せず、情報交換や支え合いができる場づくりに取り組む。回を重ねるうち、当事者の声を周りに知ってもらおうと考えるようになったのが、現在の活動のベースになっている。

2023 年、患者会活動を発展させ、一般社団法人日本アレルギーらいふ協会を設立。アレルギーに関する普及啓発、相談支援、企業・行政・大学との連携事業を推進している。同年、市川市・千葉県等の後援を受けた「アレルギーライフ展」を立ち上げ、今年で 4 回目を迎える。毎回 1,000 名を超える来場者を迎え、アレルギーに関する理解促進と地域啓発に取り組んでいる。



近年は、アレルギーをもつ当事者や家族への理解と配慮を目的に、「アレルギー×防災」をテーマとした啓発活動を展開。また、群馬県を拠点として、アトピー当事者によるベリーダンス発表会や温泉交流会などを開催し、心身に生きづらさを抱える人々の自己肯定感向上と地域コミュニティづくりに取り組んでいる。

